

PHP地域経営セミナーのご案内

自治体関係各位

平成 22 年 1 月 12 日
PHP 総合研究所

自治体公共施設の有効活用 ハコモノ改革で財源を生み出す方法

当社は「自治体公共施設の有効活用」をテーマにしたセミナーを、2010年2月4日(木)、PHP 京都本部にて、下記の通り開催します。

公共施設の有効活用は、大幅な税込減や公共施設(ハコモノ)の老朽化に直面している自治体にとり、改革の痛みも少なく、短期的に財源を生み出す方法として注目されています。

Program

Session I	ハコモノの実態情報を可視化し、コスト・パフォーマンスを評価する
13:05~13:35	レクチャー① フルセット主義とハコモノ有効活用のポイント 講師: 佐々木陽一 PHP 総合研究所コンサルタント
13:35~15:35	レクチャー② 『施設白書』をつくりコスト・パフォーマンスを比較する 講師: 望月 伸一 ファインコラボレート研究所代表取締役
Session II	『施設白書(公共施設マネジメント白書)』を活用した自治体経営の実践
15:45~16:25	事例報告 『習志野市公共施設マネジメント白書』の作成と活用例 講師: 吉川 清志 習志野市財政部経営改革推進室長
Session III	『施設白書』のつくり方、使い方、自治体経営への活かし方を考える
16:30~17:00	パネルディスカッション パネリスト: 講師の望月氏、吉川氏 / コーディネーター: 佐々木

※事情により、プログラムの内容に変更が生じる場合がありますので、予めご了承ください。

開催概要

2009年5月、当社はコスト情報を起点にした公共施設の有効活用方法について、政策提言『自治体公共施設の有効活用ーコスト情報から始めるハコモノのバリューアップー』を発表 (http://research.php.co.jp/research/local_governance/policy/post_5.php)。

本セミナーではその内容を踏まえ、ハコモノのコスト・パフォーマンスの実態把握、評価方法、改善策の立案、その効果などについて具体例を交えて解説します。

- 日時** 平成22年2月4日(木) 13:00~17:00 (開場12:30)
- 会場** PHP総合研究所 京都本部7F ホール(京都市南区西九条北ノ内町 11)
* 京都駅より徒歩5分
- 定員** 100名 ※定員に達した場合、ご参加をお断りする場合がございます。
- 参加対象** 公共施設の有効活用にご関心のある自治体首長、職員、議員の方々
- 申込方法** 別紙申込書にご記入の上、FAX、もしくは E-mail(think2@php.co.jp)にてお申込ください。お申込完了後、メールでご連絡を差し上げます。
- 受講料** ￥10,500-(お一人様・税込み)
- 支払方法** 受講料のお支払いは参加申込書受領後、弊社より請求書をお送りいたしますので指定銀行口座にお振込みください。(振込手数料は弊社負担)

キャンセルについて

(1) 初回開催3日前(稼働日)以降のキャンセルについては受講料の全額をキャンセル料とさせていただきます。ご了承ください。

(2) やむを得ず欠席される場合は、代理の方のご出席をお願いいたします。代理の方のご出席も不可能な場合、開催4日前(稼働日)までにご連絡ください。

【内容・お申込みに関するお問い合わせ】
(株) PHP 総合研究所 公共経営支援センター
担当：佐々木、茂原
TEL: 03-3239-6222 / FAX: 03-3239-6273
E-mail: think2@php.co.jp